



# 日本安全性薬理研究会

## Japanese Safety Pharmacology Society

日本安全性薬理研究会会員の皆様

### 日本安全性薬理研究会 第8回情報・技術交流会 「iSmart : in silico モデルを用いた催不整脈誘発リスク予測研究」のご案内

日本安全性薬理研究会は、「医薬品の安全性評価を薬理学から支える」ことをビジョンに掲げ、これまでに6回の学術年会、7回の情報・技術交流会を開催して参りました。この度、情報・技術交流会の活動の一環として、in silico モデルを用いて薬剤による催不整脈誘発リスクについて検討する場を提供する活動（iSmart: investigation of **in silico**/in vitro **m**odel for **arrhythmogenic risk prediction**）を立ち上げることといたしました。本活動の目的は、in silico モデルを理解し使用できる研究者の育成ならびに薬剤による催不整脈リスク予測のための in silico 細胞モデルの検証作業を通して創薬研究に有用なモデルを提案することです。背景には、2013年7月にCSRC/FDA/HESI 合同会議で創薬研究におけるパラダイムシフトが提案され CiPA に代表される活動がグローバルに展開されていること、また国内でも創薬研究における in silico モデルの応用に対する期待が益々大きくなっていること等が挙げられます。今回の活動が、安全性薬理研究領域での in silico モデルの普及、より安全な新薬創出における実質的な貢献、さらには会員の皆様のより深い交流に繋がるものと期待しております。

#### 活動予定について

- 1) 2015年7月 メールによる活動内容説明および in silico 細胞モデルのトレーニング開始
- 2) 2015年8月 講習会&討論会（会場：東京、詳細は未定）
- 3) 2016年2月 第7回 JSPS のワークショップでの中間報告およびポスター発表
- 4) 2016年9月 第16回 SPS にて発表
- 5) 2017年2月 第8回 JSPS にて活動報告

#### 参加について

- 1) 募集：2015年5月18日（月）～ 6月12日（金）
- 2) 対象者：日本安全性薬理研究会会員（会員以外の方は会員登録（年会費1,000円）が必要）
  - ・未経験者でも大歓迎ですが、in silico ツールを用いた検討を実施する、あるいは必要な薬剤の in vitro データを取得するなど、具体的なアクションを実施することが必須となります。
  - ・会社毎の参加人数制限なし。ただし、同一会社から複数エントリーされる場合は代表者を選出。
  - ・in silico 細胞モデルのプログラム（必要に応じてコンパイラ）を PC にインストールする必要がありますので、会社 PC をご使用予定の場合は事前に各社 IT 担当部署にご確認ください。
- 3) 参加費用：不要（ただし、活動にあたり発生する費用は各自負担）
- 4) 申込方法：研究会 HP 申込フォーム（以下 URL）より必要事項を入力いただきお申込みください（5月18日よりアクセス可能になります）。<https://www.primetech.co.jp/tabid/177/language/ja-JP/Default.aspx>

担当幹事：吉永 貴志、久保 多恵子（問合せ先：[kouryukai@j-sps.org](mailto:kouryukai@j-sps.org)）

以上